

西原のさんぽ道 (その5) 【柵原グスク編】

今月ご紹介するのは、柵原グスクまでのさんぽ道コースです。①ウワーフルから⑤柵原グスクまで約1kmの道のりは、上り下りが多いので、足元に注意して、さあ、出発です！

⑤ 柵原グスク



1981年の調査で確認された、14・5世紀の遺跡です。柵原集落の北側にあって、18世紀の史料にも記されています。グスク時代の土器や輸入陶磁器などがわずかに確認されています。

①ウワーフル



宮里家跡に残された、ブタ小屋をかねた便所跡。石積みでつくられ、トウシヌミー（穴）に人間が用をたすと、ブタがそれを食べるしくみになっていました。ここには権威あるフル神がいるといわれました。

④ノ口殿内



建物中央の祭壇には弥勒神がまつられています。酉年の旧暦8月15日のまつりでは、弥勒加那志の誕生を祝い、

ユガフー（豊年）を祈願して、弥勒踊りがおこなわれます。

③土帝君



五穀豊穡と子孫繁栄の神としてまつられています。比嘉家の主が200年ほど前に、首里のニシムイから持ち帰ったといわれます。

②石だたみ



長さ27m、幅1.8mの自然の石灰岩をしきつめた道。以前はこの道の前で綱ひきをしていたそうです。

道の途中では、フクギ並木、竹林といった植物が群生するようすやヤマバトなど鳥の声を楽しむこともできます。今回ご紹介した以外にも、西原でもっとも古い遺跡の柵原貝塚など、柵原にはたくさんの文化財が残っています。オリジナルの柵原コースを散策してみるのもおもしろいかもしれません。

(田島)